

明を表明 動労(組合員)の自民党への売り渡した

「労使共同宣言」↓「組合綱領破棄」のなれの果ては、
動労革マルII松崎は五月三十一日、「同盟本部・友愛会館」において行われた真
国労の会議の中で「鉄労・全施労・真国労と動労の四組合で組織を統一する」方
針を明らかにした。松崎は「国鉄の中にいくつもの組合があるのは不自然」とし、
鉄労などとの組織統一を七月の全国大会ではかるうというのだ。また、鉄労は「
新事業体移行時に鉄労が過半数を制覇するため国労から大量脱退―鉄労加入を現
現する」方針をうち出している。

事務所は「鉄労」内に、会議は
「同盟会館」で、加入受付は「当
局人事課」で――真国労の正体
そして役員は全員礼つきの革マル分子

動労革マルII松崎は先の動労臨時中央
委で「労使共同宣言」を基本とした新綱
領にかえる方針をうち出し、それは、鉄
労にも受け入れられる「産業報国会的綱
領」につくりかえようというのだ。

自民党機関紙上で「国鉄の組合は統一
すべきでその場合、鉄労が主導権をとる
べきだ」とした考えをいよいよ実行に移
そうというのである。

組合事務所は鉄労東京本部内におき、
加入受付は「当局人事課まで」などや、
地本結成大会には「労働課が出席」し、
自民党には「不当労働行為スレスレにや
つても育てる」とまでいわれる革マルが
デッチ上げた「真国労」の会議場所とな
った。「同盟本部・友愛会館」とはそも
そも、分割・民営化―十万人首切りをお

裏切りの者 松崎

6/1(毎日) 動労、鉄労、全施労、真国労
組織統一目ざす 動労委員長

動労の松崎委員長は三十一日、東京・芝の同盟本部で開かれた真国労の全国親親会で「早い機会に鉄労(同盟)・全施労(新産別)・真国労(無所属)と動労(総厚)の四組合で組織統一の方向を固指していきたい」と語った。松崎委員長は七月の動労定期大会にこの方針を踏む。ナショナルセンターの違ふ組合組合が組織を統一するのは異例なことだが、民営移行後の賃金交渉や労働協約の締結など、最近共同宣言実現の共闘態勢を強め、最大組合の国労との対立を深めている。

しすすめる同盟・鉄労の根城ではないか。
そこで動労・鉄労・真国労などマル生
組合の頭目が額をこすり合い、「新事業
体での組織統一」を画策していたのだ。
何んとおぞましいばかりではないか。

中曾根に「四組合統一」― 「動労の解散」を約束した松崎

動労革マルII松崎は、「動労の解散」
を中曾根に約束したのだ。その証をたて
るため、国労つぶしの先頭に立ち、鉄労
にコビへつらい、一方で、動労組合員に
対しては、「雇用を守る闘い」などの大
ベテンをもって奴隷の道を強要している
のだ。しかし、中曾根はさらなる証を松
崎に要求することは確実だ。動労解散を
受け入れた松崎によって、動労革マルは
自から墓穴を掘る危機にたたされている。
また、「真国労」も破産状態においこ
まれながらも、当局に擁護・育成されな
がら動労革マルとともに延命をはかるう
としている。同盟・鉄労の根城で総評・
国労をたたきつぶそうと雁首そろえ、奸
計を練っている連中を許しておいてどう
して分割・民営化攻撃とたたかえるとい
えるのか。

国労組合員の怒りはすさまじいばかり
に燃えあがっている。本当に闘う方針を
求めている。いまこそ職場から総反撃に
うってでるチャンスである。いまこそ「
真国労」をたたきつぶせ。